

# 印刷位置合せ PITA

## 取り扱い説明書

IRT B0435

製品ご利用の前に必ずお読みください。  
この取り扱い説明書は大切に保管してください。  
※本書及びシリアルナンバーを再発行することはできません。



# 目次

動作環境・その他(免責事項や注意事項など).....	02
インストール方法・アンインストール方法.....	03～04
起動方法.....	05

## 画面・各部の説明

メイン画面.....	06～12
ページ設定画面.....	13～14
テキストオブジェクトのプロパティ画面.....	14～15
図形のプロパティ画面.....	15
色の調整画面.....	16

## 印刷位置を合わせて印刷する

1つの名刺のデザインを作成して、10枚の名刺を印刷する .....	16～34
-----------------------------------	-------

## その他の機能・操作説明

作成（保存）したレイアウトデータを開く.....	35
マスク機能を使用する.....	36～38
下絵をファイルから読み込む.....	39
画像のトリミングをする.....	40
C S Vエディタ.....	41～43

Q & A.....	44～46
------------	-------

ユーザーサポート.....	裏表紙
---------------	-----

# 動作環境

■対応OS: Windows2000 / XP / Vista

■CPU: Pentium II 以上 / Windows Vistaの場合は800MHz以上

■メモリ: 256MB以上必須 (512MB以上推奨) / Windows Vistaの場合は512MB以上必須

■モニタ: 1024×768以上の解像度で色深度16bit HighColor以上の表示をサポートしている環境

■CD-ROM: 倍速以上

■ハードディスク: 100MB以上の空き容量 (インストール時) 別途データを保存するための空き容量が必要です。

■プリンタ: 対応OS上で正常動作する、A4～A6・B4～B6・ハガキ・L版・2L版の用紙サイズに印刷可能なレーザー  
もしくはインクジェットプリンタ

■スキャナ: TWAIN32ドライバに対応したスキャナ (下絵を読み込む際に必要です)

■その他: インターネット接続環境推奨

Internet Explorer5.01以上が正常に動作する環境

※上記OSが正常に機能し、OSの最低動作環境を満たしていることが前提です。

※日本語版OSのみの対応です。各種ServerOSには対応しておりません。

※最新のサービスパック (SP) 及び各種パッチが適用されている環境が前提です。

※管理者権限を持ったユーザーでお使い下さい。

※マイクロソフトのサポート期間が終了したOSでの動作は保証いたしません。

※一部のプリンタでは正常に印刷を行うことが出来ない場合もあります。

(複合機等の特殊な構造をしたプリンタなどで発生しやすい現象となっております。)

※プリンタの印刷可能領域が狭いものでは、印刷内容が一部切れてしまう場合もあります。

※プリンタと用紙の組み合わせ等によっては、対応用紙サイズであっても印刷できない場合もあります。

※弊社ではソフトの動作関係のみのサポートとさせていただきます、予めご了承ください。

■対応画像形式: BMP / JPEG

※PCの性能やプリンタとの組み合わせによっては、あまりにも大きすぎる画像ファイルを使いますと正常に印刷を行うことが出来ない場合もあります。また、一度にたくさん画像を使用しますと、パソコン環境によっては、パソコンの動作に遅延等が見られる場合もありますのでご注意ください。

※JPEG / BMPファイルは、一般的なWindows標準のファイルを基準としています。

特殊なファイル (CMYKモードの物や、Web表示に特化したファイル等) は、本ソフト上では正常に読み込めない場合があります。

■印刷

※各メーカー専用紙 (名刺用紙やラベル用紙等) に印刷ができますが、お使いのプリンタが各メーカー専用紙に対応していない場合は印刷できませんので、予めご確認ください。

■その他のご注意

※データの量や内容、パソコンのパフォーマンス等によっては、動作に遅延等が発生する場合も有りますので  
ご注意ください。

※OSの動作・設定等は弊社サポート対象外となりますので、メーカーサポートを受ける事の出来るパソコンでの  
ご利用をお勧め致します。

※パソコン本体やプリンタ・各種周辺機器等のお問い合わせ、サポート等は、各メーカーにお問い合わせください。

※本ソフトは1ソフト・1PCとなります。複数台のパソコンでご利用の場合は台数分のソフトが必要となります。

また、ネットワーク経由で本ソフトを使用することはできません。

## その他

MicrosoftWindowsは米国MicrosoftCorporationの米国及びその他の国における登録商標又は商標です。記載されている各会社名、商品名等は各社の商標または登録商標です。製品の仕様、パッケージ、画面内容等は予告無く変更することがありますので予めご了承下さい。本ソフトを著作権者の許可無く賃貸業等の営利目的で使用する事を禁止します。改造、リバースエンジニアリングする事を禁止します。本ソフトを複数のパソコン上で使用するには台数分のソフトを必要とします。本ソフトを運用された結果の影響につきましては、当社は一切の責任を負いかねます。また、本ソフトに瑕疵が認められる場合以外の返品はお受け致しかねますので予めご了承下さい。

# インストール方法とアンインストール方法

## インストール方法

お使いのコンピュータに『印刷位置合せPITA』をインストールします。

本ソフトをインストールする前に、次の項目をご確認ください。

### ○ハードディスクの空き容量

ハードディスクの空き容量が100MB以上必要（左記以外に作成するデータ用の空き容量も必要）です。

### ○管理者権限について

インストールするコンピュータの管理者権限を持っているユーザーがインストールを行ってください。

### ○アプリケーションソフトの停止

インストールする前にウイルス対策ソフトなどの常駐ソフトや他のアプリケーションを停止してください。

※Windows OSやお使いのパソコンそのものが不安定な場合も、正常にインストールが行われない場合があります。

## 1 本ソフトのCD-ROMをCD-ROMドライブに入れてください。

CDが認識されましたら、自動でセットアップが始まります。  
コンピュータの設定によっては自動でセットアップが始まらない場合があります。  
その場合は、[コンピュータ]→[CDまたはDVDドライブ]→[SETUP.EXE]をダブルクリックして下さい。



## 2 使用許諾契約の内容を確認してください。

使用許諾契約書の内容を確認し、使用許諾契約の条項に同意しますをクリックして選択した後、**次へ** ボタンをクリックしてください。



## 3 インストール先のフォルダを確認してください。

この画面からインストール先を選択できます。  
インストール先を変更しない場合は **次へ** ボタンをクリック、インストール先を変更する場合は **変更** ボタンをクリックしてください。  
※通常は、インストール先を変更しなくても結構です。



## 4 設定の内容を確認してください。

確認用の画面が表示されます。  
よろしければ **インストール** ボタンをクリックしてください。

インストールが始まります。



# インストール方法とアンインストール方法


## 4 インストール完了！

インストールが正常に終了すると右のような画面が表示されますので完了 ボタンをクリックしてください。



## アンインストール方法

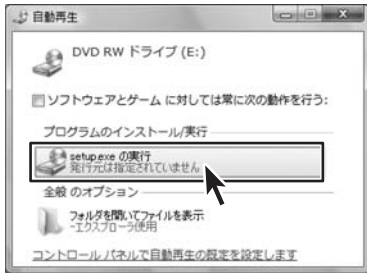
お使いのコンピュータから『印刷位置合せPITA』をアンインストール（削除）します。

本ソフトを完全に終了して  ボタン→「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」で一覧表示されるプログラムの中から「印刷位置合せPITA」を選択して「アンインストール」をクリックすると確認メッセージがでますので、はい をクリックするとアンインストールが実行されます。

※Windows OSがXPの場合、「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」から、Windows 2000の場合、「スタート」→「設定」→「アプリケーションの追加と削除」からアンインストールを行ってください。

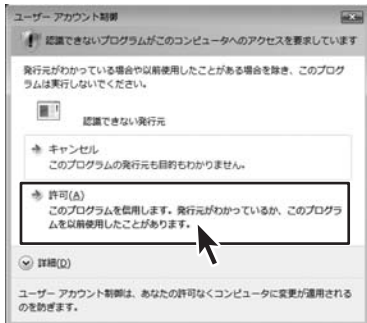
### インストール中、またはアンインストール中に下のような画面が表示された場合

次の手順で作業を続けてください。



#### 【自動再生】画面が表示された場合

「setup.exeの実行」をクリックしてください。




#### 【ユーザーアカウント制御】画面が表示された場合

「許可」をクリックしてください。

# 起動方法



デスクトップのショートカットアイコンをダブルクリックするか、デスクトップ左下の  
 ボタン（Windows Vista以外の場合は[スタート]ボタン）をクリックして「すべてのプログラム」→  
「IRT」→「印刷位置合せPITA」→「印刷位置合せPITA」をクリックしますと本ソフトが起動します。

※Windows2000をお使いの場合「すべてのプログラム」が「プログラム」と表示されています。

本ソフトをインストールすると、デスクトップ上に「印刷位置合せPITA」のショートカットアイコンが  
作成されます。



印刷位置合せ  
PITA

印刷位置合せPITA  
デスクトップショートカットアイコン



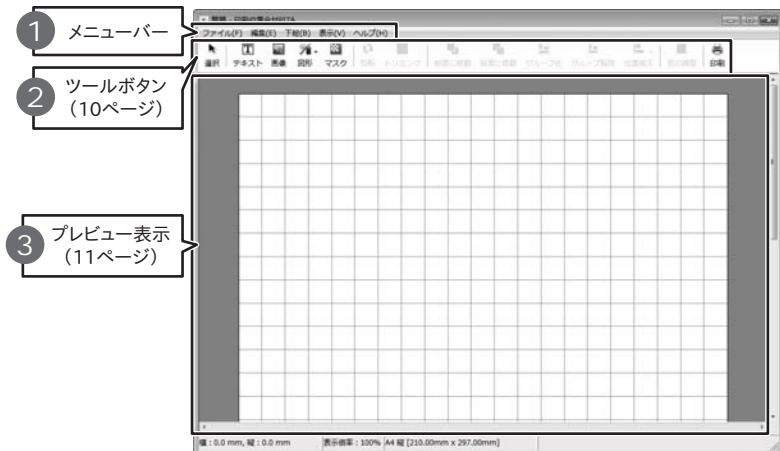
CSVエディタ

CSVエディタ  
デスクトップショートカットアイコン

# 画面・各部の説明

「印刷位置合せPITA」を起動（方法は5ページ参照）すると下のようなメイン画面が表示されます。

## メイン画面



## 1 メニューバー

ファイル(F)	
新規作成(N)	Ctrl+N
開く(O)	Ctrl+O...
保存(S)	Ctrl+S
名前をつけて保存(A)...	
画像形式で保存(I)...	
ページ設定(U)...	
印刷(P)...	Ctrl+P
終了(X)	Alt+F4

ファイルメニュー

### 新規作成

レイアウトデータを新規作成します。

### 開く

保存したレイアウトデータを開きます。

### 保存

作成したレイアウトデータを上書き保存します。

### 名前をつけて保存

作成したレイアウトデータに名前をつけて保存します。

### 画像形式で保存

ディスプレイの解像度(XXdpi) 72dpi 96dpi 100dpi 120dpi 150dpi 200dpi 300dpi から解像度を選択してBMP形式で保存します。

### ページ設定

用紙のサイズや向き、補助線の表示、並べて印刷、印刷オプションなど用紙や印刷に関する設定を行います。

### 印刷

作成したレイアウトデータを印刷します。  
印刷ボタンと同じ働きをします。

### 終了

「印刷位置合せPITA」を終了します。

## 画面・各部の説明

### 編集(E)

元に戻す(U)	Ctrl+Z
やり直し(R)	Ctrl+Y
切り取り(X)	Ctrl+X
コピー(C)	Ctrl+C
貼り付け(P)	Ctrl+V
削除(E)	Delete
全て選択(A)	Ctrl+A
選択(S)	S
追加(I)	▶
回転(K)	R
トリミング(T)	T
前面に移動(F)	Ctrl+F
背面に移動(B)	Ctrl+B
グループ化(G)	Ctrl+G
グループ解除(D)	Ctrl+Shift+G
位置揃え	▶

### 編集メニュー

#### 元に戻す

行った操作の手順を操作を行う前の状態に戻します。

#### やり直し

元に戻すで行った操作を取り消します。

#### 切り取り

選択しているオブジェクトを切り取ります。  
(一時的にクリップボードに保存されます)

#### コピー

選択しているオブジェクトをコピーします。  
(一時的にクリップボードに保存されます)

#### 貼り付け

切り取りやコピーをしたオブジェクトを貼り付けます。

#### 削除

選択しているオブジェクトを削除します。

#### 全て選択

作成されているオブジェクト全てが選択されます。  
(※下絵は選択されません)。

#### 選択

オブジェクトをマウスクリックで選択することができます。  
「選択」ボタンと同じ働きをします。

#### 追加

画像・テキスト・図形(直線・四角・丸)・マスクのオブジェクトを追加します。  
「画像」ボタン・「テキスト」ボタン・「図形」ボタン・「マスク」ボタンと同じ働きをします。

#### 回転

選択されているオブジェクトをマウスで回転させることができます。「回転」ボタンと同じ働きをします。

#### トリミング

選択した画像オブジェクトの不要な部分を切り取ることができます。(画像オブジェクトのみ)

#### 前面に移動

複数のオブジェクトがある場合、選択したオブジェクトを前面に表示することができます。重なっているオブジェクトは下に表示されます。「前面に移動」ボタンと同じ働きをします。

#### 背面に移動

複数のオブジェクトがある場合、選択したオブジェクトを背面に表示することができます。重なっているオブジェクトは上に表示されます。「背面に移動」ボタンと同じ働きをします。



## 画面・各部の説明

### 編集(E)

元に戻す(U)	Ctrl+Z
やり直し(R)	Ctrl+Y
切り取り(X)	Ctrl+X
コピー(C)	Ctrl+C
貼り付け(P)	Ctrl+V
削除(E)	Delete
全て選択(A)	Ctrl+A
選択(S)	S
追加(I)	▶
回転(K)	R
トリミング(T)	T
前面に移動(F)	Ctrl+F
背面に移動(B)	Ctrl+B
グループ化(G)	Ctrl+G
グループ解除(D)	Ctrl+Shift+G
位置揃え	▶

### 編集メニュー

### 下絵(B)

下絵を読み込む(L)	▶
マウス操作で回転(R)	
マウス操作で移動(M)	
マウス操作を終了(T)	
90度回転	
回転と移動を解除(D)	
画像ファイルの解像度を無視(I)	
一時的に非表示(H)	
エクスポート(E)...	
消去(C)	

### 下絵メニュー

#### グループ化

複数のオブジェクトを1つのオブジェクトとしてまとめることができます。「グループ化」ボタンと同じ働きをします。

#### グループ解除

グループ化されたオブジェクトを1つ1つの単独オブジェクトにすることができます。「グループ解除」ボタンと同じ働きをします。

#### 位置揃え

複数のオブジェクトの位置を揃えることができます。

また、選択したオブジェクトを用紙に合せて配置することができます。「位置揃え」ボタンと同じ働きをします。

#### 下絵を読み込む

##### ファイルから

下絵として読み込む画像ファイルを開きます。

##### 外部機器から

TWAIN32対応のスキャナで読み込んだ画像を下絵として読み込みます。

##### キャッシュ

前回使用した下絵を再度使用することができます。

#### マウス操作で回転

読み込まれた下絵をマウス操作で回転させることができます。

#### マウス操作で移動

読み込まれた下絵をマウス操作で移動させることができます。

#### マウス操作を終了

読み込まれた下絵を操作できないよう固定します。

#### 90度回転

読み込まれた下絵を90度ずつ回転させることができます。

#### 回転と移動を解除

下絵を読み込んだ状態まで戻します。

#### 画像ファイルの解像度を無視

チェックを入れると、ディスプレイの解像度に合わせて画像が表示されます。チェックを外すと、画像ファイルの解像度が優先して表示されます。

#### 一時的に非表示

読み込まれた下絵を一時的に非表示にすることができます。

## 画面・各部の説明

### 下絵(B)

下絵を読み込む(L)	▶
マウス操作で回転(R)	
マウス操作で移動(M)	
マウス操作を終了(T)	
90度回転	
回転と移動を解除(D)	
画像ファイルの解像度を無視(I)	
一時的に非表示(H)	
エクスポート(E)...	
消去(C)	

### 下絵メニュー

### 表示(V)

拡大(I)	Ctrl+NUM+
縮小(D)	Ctrl+NUM-
標準(S)	
全体を表示(A)	
幅にあわせる(W)	
25%(Q)	
50%(H)	
75%	
100%	
150%	
200%	
300%	
400%	
800%	
1600%	

### 表示メニュー

### ヘルプ(H)

バージョン情報(V)...
---------------

### ヘルプメニュー

### エクスポート

読み込まれた下絵をJPEG形式の画像として出力することができます。

### 消去

読み込まれた下絵を消去します。

### 拡大

レイアウトデータを拡大表示させることができます。

### 縮小

レイアウトデータを縮小表示させることができます。

### 標準

レイアウトデータを標準表示に戻します。

### 全体を表示

レイアウトデータ全体をウインドウサイズに合せて表示することができます。

### 幅にあわせる

レイアウトデータの横幅をウインドウサイズに合せて表示することができます。

### 25%～1600%

選択した数字に合わせてレイアウトデータの縦と横の長さが変更されてレイアウトデータが表示されます。

### バージョン情報

バージョン情報が表示されます。

# 画面・各部の説明

## 2 ツールボタン



選択

### 選択

オブジェクトをマウスクリックで選択することができます。



画像

### 画像

画像オブジェクトを追加することができます。



マスク

### マスク

マスクのオブジェクトを追加することができます。  
マスクの重なってる部分は透明になり、  
印刷されなくなります。



トリミング

### トリミング（画像オブジェクトのみ）

選択した画像オブジェクトの不要部分を切り取ることができます。



背面に移動

### 背面に移動

複数のオブジェクトがある場合、選択したオブジェクトを  
背面に表示することができます。重なっている  
オブジェクトは上に表示されます。



グループ解除

### グループ解除

グループ化されたオブジェクトを1つ1つの  
単独オブジェクトにすることができます。



色の調整

### 色の調整（画像オブジェクトのみ）

色の調整画面が表示され、色成分や色合いを  
選択します。



テキスト

### テキスト

テキストオブジェクトを追加することができます。



図形

### 図形

図形(直線・四角・丸)マスクのオブジェクトを追加することが  
できます。



回転

### 回転

選択されているオブジェクトをマウスで回転させることが  
できます。



前面に移動

### 前面に移動

複数のオブジェクトがある場合、選択したオブジェクトを  
前面に表示することができます。重なっているオブジェクト  
は下に表示されます。



グループ化

### グループ化

複数のオブジェクトを一つのオブジェクトとして  
まとめることができます。



位置揃え

### 位置揃え

複数のオブジェクトの位置を揃えることができます。  
また、選択したオブジェクトを用紙に合せて配置することが  
できます。



印刷

### 印刷

作成したレイアウトデータを印刷します。

## 画面・各部の説明

### 3 プレビュー表示

レイアウトデータのプレビューが表示されます。  
レイアウトデータの作成・編集等を行います。

#### テキストオブジェクト上で右クリックすると表示されるメニュー

プロパティ(P)...  
縦書きにする

##### プロパティ

テキストオブジェクトのプロパティ画面を表示します。  
(詳細は14ページをご覧ください)

##### 縦書きにする (横書きにする)

テキストが横書きの時は縦書きに、縦書きの時は横書きに変更します。

#### 画像オブジェクト上で右クリックすると表示されるメニュー

画像ファイルを開く(O)...  
外部機器から取り込む(T)...  
キャッシュから取り込む(C)...  
サイズ変更は画像の縦横比に合わせて行う(A)  
トリミングを解除(D)  
画像のサイズにあわせる(S)  
画像をエクスポート(E)...  
画像を消去する(R)

##### 画像ファイルを開く

画像ファイルを開きます。

##### 外部機器から取り込む

TWAIN32対応のスキャナで読み込んだ画像を読み込みます。

##### キャッシュから取り込む

前回使用した画像ファイルを再度使用することができます。

##### サイズ変更は画像の縦横比に合わせて行う

チェックを入れると、画像オブジェクトを拡大縮小する際に縦と横の比率を固定したまま拡大縮小することができます。

##### トリミングを解除

トリミングされた画像オブジェクトをトリミング前の状態に戻します。

##### 画像をエクスポート

選択されている画像オブジェクトをJPEG形式で保存することができます。

##### 画像を消去する

選択されている画像オブジェクトの画像のみを消去します。  
※オブジェクトはそのまま残ります。

#### 図形オブジェクト上で右クリックすると表示されるメニュー

プロパティ

##### プロパティ

図形のプロパティ画面を表示します。  
(詳細は15ページをご覧ください)

## 画面・各部の説明

オブジェクト上ではない場所で右クリックすると表示されるメニュー

下絵を読み込む(L)	▶
マウス操作で回転(R)	
マウス操作で移動(M)	
マウス操作を終了(T)	
90度回転	
回転と移動を解除(D)	
画像ファイルの解像度を無視(I)	
一時的に非表示(H)	
エクスポート(E)...	
消去(C)	

### 下絵を読み込む

#### ファイルから

下絵として読み込む画像ファイルを開きます。

#### 外部機器から

TWAIN32対応のスキャナで読み込んだ画像を下絵として読み込みます。

#### キャッシュ

前回使用した下絵を再度使用することができます。

### マウス操作で回転

読み込まれた下絵をマウス操作で回転させることができます。

### マウス操作で移動

読み込まれた下絵をマウス操作で移動させることができます。

### マウス操作を終了

読み込まれた下絵を操作できないよう固定します。

### 90度回転

読み込まれた下絵を90度ずつ回転させることができます。

### 回転と移動を解除

下絵を読み込んだ状態まで戻します。

### 画像ファイルの解像度を無視

チェックを入れると、ディスプレイの解像度に合わせて画像が表示されます。チェックを外すと、画像ファイルの解像度が優先して表示されます。

### 一時的に非表示

読み込まれた下絵を一時的に非表示にすることができます。

### エクスポート

読み込まれた下絵をJPEG形式の画像として出力することができます。

### 消去

読み込まれた下絵を消去します。

## 画面・各部の説明

### ページ設定画面

[ファイル]メニューから[ページ設定]を選択すると、下記のようなページ設定画面が表示されます。



[用紙のサイズと向き]タブ

#### 用紙サイズ

▼をクリックして、用紙サイズを設定します。

A4 B5 L版 2L版 はがき A3 A5 A6 B4 B6  
ユーザー定義用紙(※)

※ユーザー定義は、横幅と高さに入力した際、既存の用紙サイズと異なる場合のみ自動切替されます。  
直接選択できません。

#### 横幅

レイアウト用紙の横幅のサイズを0.1ミリ単位で設定できます。

#### 高さ

レイアウト用紙の高さのサイズを0.1ミリ単位で設定できます。

#### 用紙の向き(縦・横)

用紙の向きを設定します。

#### OK (全タブ共通)

設定を保存して、ページ設定画面を閉じます。

#### キャンセル (全タブ共通)

設定を保存せずに、ページ設定画面を閉じます。



[補助線]タブ

#### 補助線を表示する

チェックを入れると、レイアウトデータを作成する際の目安となる線を表示します。※印刷されません

#### 補助線を印刷する

チェックを入れると、レイアウトデータを作成する際の目安となる線を印刷します。

#### 補助線の間隔

##### 縦線の間隔

縦線の間隔を0.1ミリ単位で設定できます。

##### 横線の間隔

横線の間隔を0.1ミリ単位で設定できます。

## 画面・各部の説明



[並べて印刷]タブ

### 並べて印刷を行う

チェックを入れると、「用紙のサイズと向き」タブで設定したサイズのデザインを並べて印刷することができます。

### 繰り返し回数

設定したサイズのデザインを繰り返す回数を指定します。

### 印刷順

設定したサイズのデザインを繰り返す順番を指定します。

### 余白

**上** 実際に印刷される用紙の上端からの余白を0.1ミリ単位で設定できます。

**左** 実際に印刷される用紙の左端からの余白を0.1ミリ単位で設定できます。

### 間隔

各印刷単位の間隔のサイズを設定します。



[印刷オプション]タブ

### 画像の印刷品質

#### 高品位⇔低品位

印刷時の画像の品質を設定します。

### 印刷単位の分割

#### 1ページずつプリンタに送る

チェックを入れると、1ページずつ印刷データをプリンタに送ります。

### ページ間の待ち時間

1秒単位でプリンタに印刷データを送る待機時間を設定します。

## テキストオブジェクトのプロパティ画面

テキストオブジェクトをダブルクリック、または右クリックして「プロパティ」を選択すると、下記のようなテキストオブジェクトのプロパティ画面が表示されます。



入力エリア欄

### フォント

#### 変更ボタン

フォント画面が開き、パソコンの中に入っているフォントを選択したり、スタイルやフォントサイズを設定することができます。

### 文字色

▼をクリックして、フォントの色を変更することができます。

### 配置

#### 文字間隔

0.1ミリ単位で文字と文字の間を設定することができます。

例:「あいう」と入力した場合、「あ」と「い」、「い」と「う」の間の余白設定になります。

## 画面・各部の説明



入力エリア欄

枠にあわせて折り返す

▼をクリックして、[はい]を選択すると、テキストオブジェクトの枠に沿って、文章を折り返します。

### 横位置

▼をクリックして、テキストオブジェクト枠内の文字配置を左・中央・右の中から設定します。

### 縱位置

▼をクリックして、テキストオブジェクト枠内の文字配置を上・中央・下の中から設定します。

## テキストの方向

▼をクリックして、横書き、または縦書きを選択します。

## テキスト

## 文字を直接入力

入力エリア欄に直接入力します。

## CSVデータを差込む

差込ウィザードが表示され、CSVファイルの差込設定を行うことができます。

## 入力エリア欄

直接文字を入力することができ、また差込が設定されている場合は、差込されたCSV情報が表示されます。

OK

設定した内容を保存して、画面を閉じます。

キャンセル

設定した内容を保存せずに、画面を閉じます。

## 図形のプロパティ画面

図形オブジェクトをダブルクリック、または右クリックして「プロパティ」を選択すると、下記のような図形のプロパティ画面が表示されます。



## 種類

▼をクリックして、作成する図形の種類を直線・四角・丸から設定します。

## 線の太さ

▼をクリックして、1～10ptから図形の線の太さを設定します。

## 線の種類

▼をクリックして、実線・破線・点線・1点鎖線・2点鎖線から線の種類を設定します。

## 線の色

▼をクリックして、線(図形周囲の線)の色を設定します。

## 塗りつぶしの色

▼をクリックして、図形の中を塗りつぶす色を設定します。

OK

設定した内容を保存して、画面を閉じます。

キャンセル

設定した内容を保存せずに、画面を閉じます。



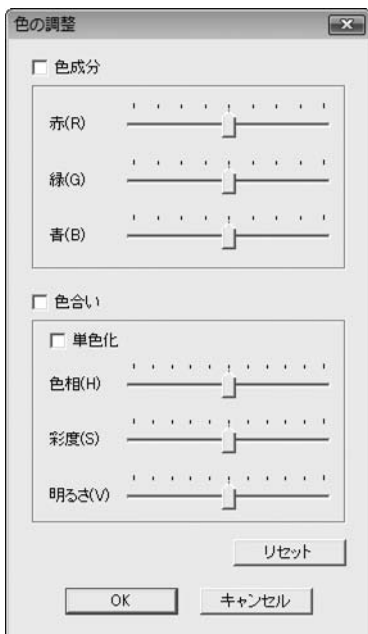
## 画面・各部の説明

### 色の調整画面



色の調整

ボタンをクリックすると、下記のような色の調整画面を表示します。



#### 色成分

チェックを入れて、各項目のつまみを調整すると、挿入した画像の色成分を調整することができます。

#### 色合い

チェックを入れて、各項目のつまみを調整すると、挿入した画像の色合いを調整することができます。

[単色化]にチェックを入れると、画像全体を単色化します。

#### OK

設定した内容を保存して、画面を閉じます。

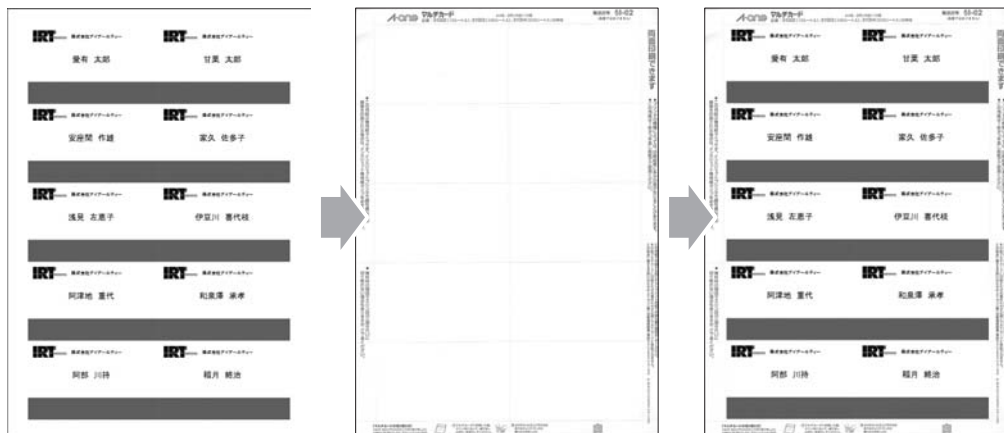
#### 色合い

設定した内容を保存せずに、画面を閉じます。

# 印刷位置を合わせて印刷する

## 1つ名刺のデザインを作成して、10枚の名刺を印刷する

ここでは、1つの名刺デザインを作成して、A4サイズの名刺用紙に10枚の名刺を印刷する方法の説明をします。  
(A4サイズの名刺用紙は、エーワン名刺用紙の型番51002を使用しています)

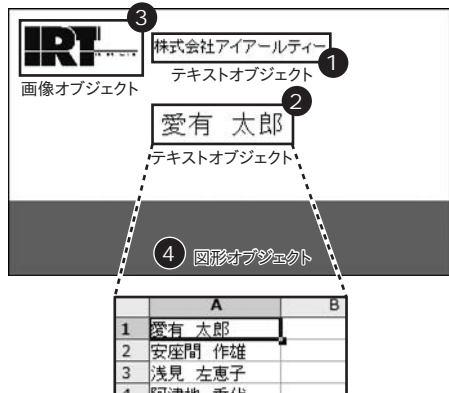


ソフトで名刺デザインを作成

エーワンの名刺用紙に印刷

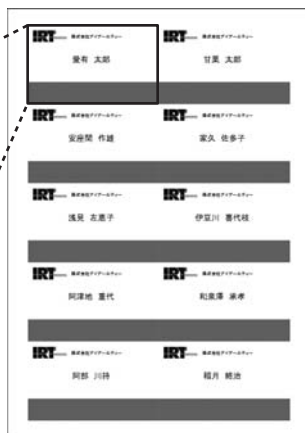
完成!

下記のような名刺1枚のデザインを作成します。



上記のようなCSVファイルを  
使用します。

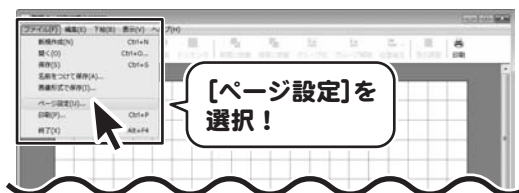
	A	B
1	愛有 太郎	
2	安座間 作雄	
3	浅見 左恵子	
4	伊豆川 喜代枝	



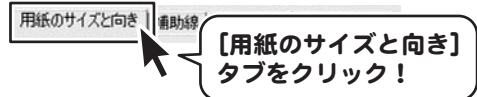
# 印刷位置を合わせて印刷する

## 1 ページ設定を行います

[ファイル]メニューから[ページ設定]を選択します。  
ページ設定画面が表示されますので、  
[用紙のサイズと向き]、[並べて印刷]タブの  
各項目を設定します。

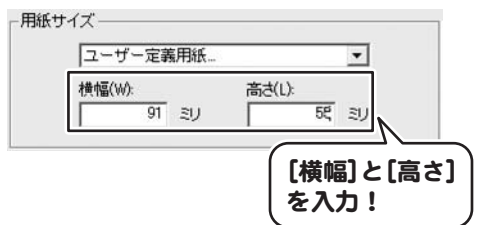


### ① [用紙のサイズと向き]タブを表示します



### ② [用紙サイズ]を設定します

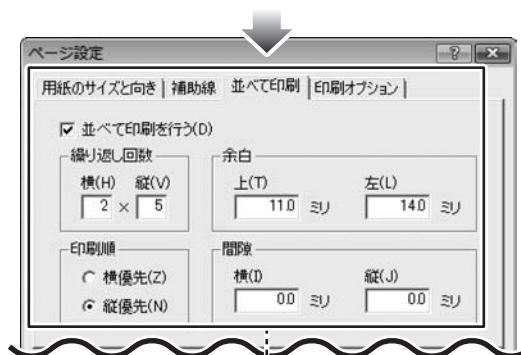
(ここでは、横幅91ミリ、高さ55ミリに設定)



### ③ [用紙の向き]を設定します (ここでは、縦を選択)



## 印刷位置を合わせて印刷する



### ① [並べて印刷] タブを表示します

用紙のサイズと向き | 補助線 | **並べて印刷** | 印刷オプション

**[並べて印刷] タブををクリック！**

### ② [並べて印刷を行う] にチェックを入れます

☒ **並べて印刷を行う(D)**

**[並べて印刷を行う] をクリック！**

### ③ [繰り返し回数] を設定します (ここでは、横に2、縦に5と設定)

繰り返し回数  
横(H) 縦(V)  
2 × 5

**[繰り返し回数] を設定！**

### ④ [余白] を設定します (ここでは、上を11、左を14と設定)

余白  
上(T) 左(L)  
11.0 ミリ 14.0 ミリ

**[余白] を設定！**

### ⑤ [印刷順] を設定します (ここでは、縦優先を選択)

印刷順  
☐ 横優先(Z)  
☒ 縦優先(N)

**[印刷順] を選択！**

## 印刷位置を合わせて印刷する

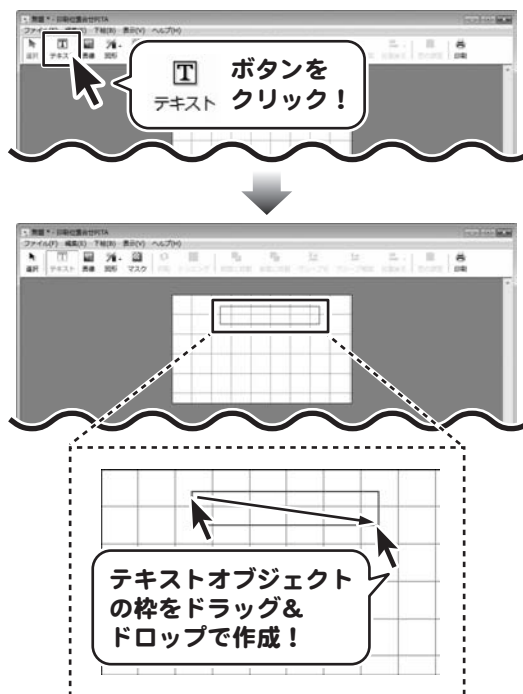
各項目の設定が終わりましたら、OK ボタンをクリックします。



## 2 テキストオブジェクトを追加します (テキストオブジェクト ① を配置する)



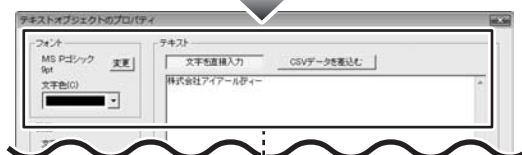
ボタンをクリックし、ドラッグ&ドロップして、テキストオブジェクトの枠を作成します。



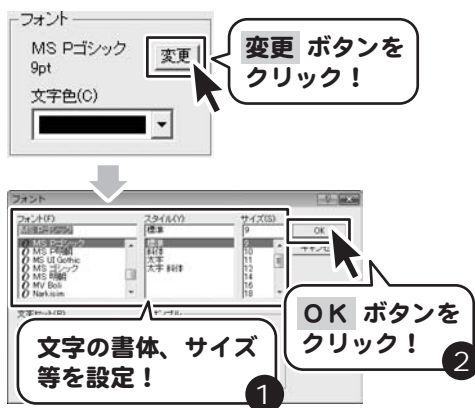
## 印刷位置を合わせて印刷する

テキストオブジェクトの枠を作成しましたら、  
テキストオブジェクトの枠内をダブルクリック  
します。

テキストオブジェクトのプロパティ画面が表示  
されますので、各項目を設定します。



- ①[フォント]から文字の書体とサイズを設定します  
(ここでは、MSPゴシック 9ptに設定)

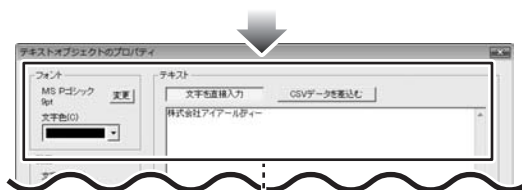


- ②[フォント]から▼をクリックして、文字色を設定します  
(ここでは黒に設定)

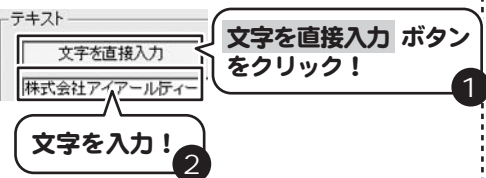


## 印刷位置を合わせて印刷する

テキストオブジェクトのプロパティ画面の各項目の設定が終わりましたら、**OK** ボタンをクリックします。  
テキストオブジェクト内に設定した文字が挿入されます。  
最後に、テキストオブジェクトの枠のサイズ、位置を調整します。



- ③ **文字を直接入力** ボタンをクリックして、  
入力欄に文字を入力します  
(ここでは、株式会社アイアールティーと入力)



テキストオブジェクトの  
枠のサイズ、位置を調整！

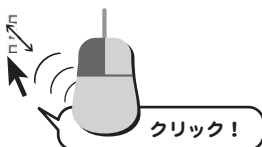


### マウス操作でテキストオブジェクトのサイズ・位置変更

#### サイズ変更

テキストオブジェクトの周辺にある□にマウスを合わせて、  
左クリックしたままマウスを移動すると、テキストオブジェクト  
のサイズを変更できます。

□株式会社アイアールティー



#### 位置変更

テキストオブジェクトの枠内を  
左クリックしたままマウスを移動すると、  
テキストオブジェクトの位置を変更  
できます。



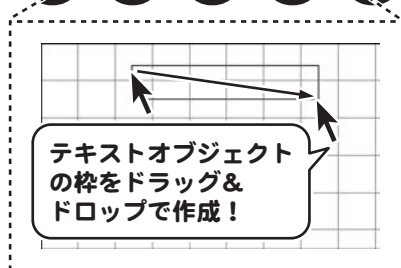
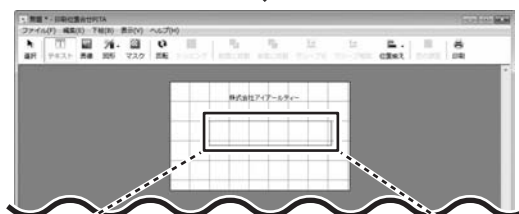
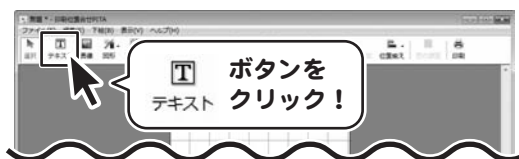
## 印刷位置を合わせて印刷する

### 3 テキストオブジェクトを追加します (テキストオブジェクト ② を配置する)



ボタンをクリックし、ドラッグ&ドロップして、テキストオブジェクトの枠を作成します。

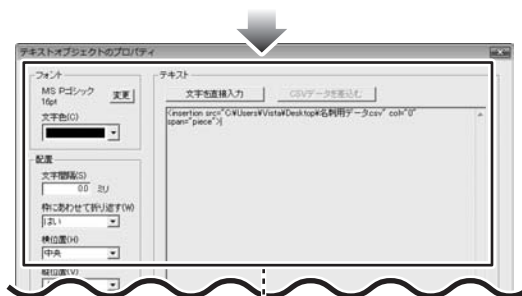
テキストオブジェクトの枠を作成したら、テキストオブジェクトの枠内をダブルクリックします。



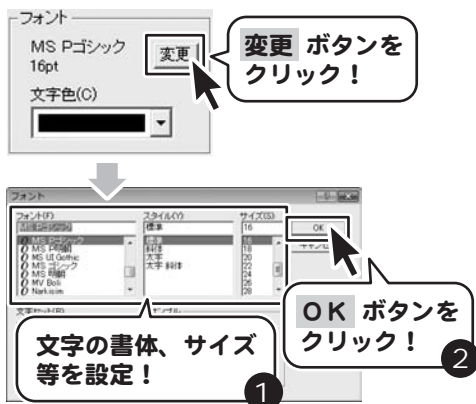


## 印刷位置を合わせて印刷する

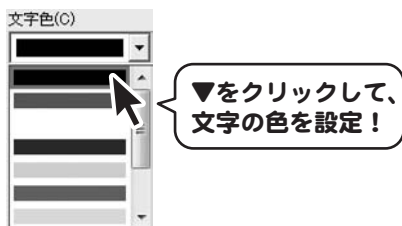
テキストオブジェクトのプロパティ画面が表示されますので、各項目を設定します。



- ① [フォント] から文字の書体とサイズを設定します  
(ここでは、MSPゴシック 16ptに設定)



- ② [フォント] から▼をクリックして、文字色を設定します (ここでは黒に設定)



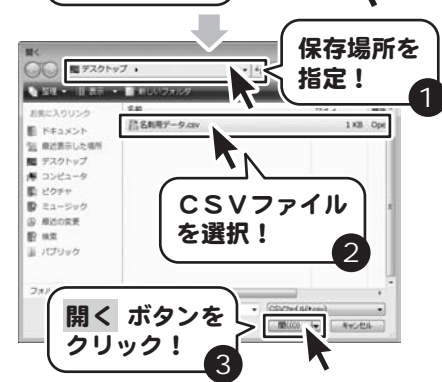
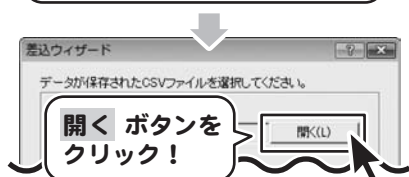
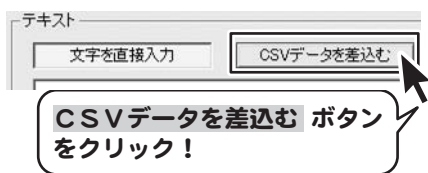
- ③ ▼をクリックして [横位置] を設定します



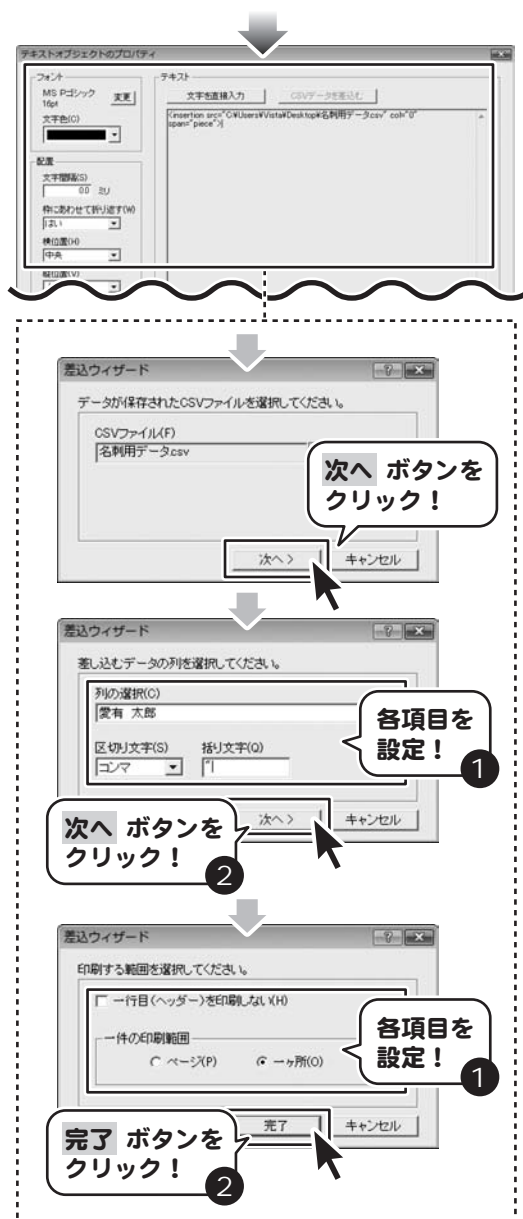
## 印刷位置を合わせて印刷する



- ④ **CSVデータを差込む** ボタンをクリックして  
差込むCSVファイルの設定をします  
※あらかじめ、CSVファイルを用意してください

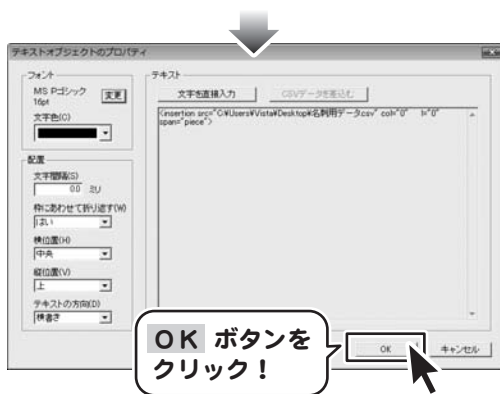


## 印刷位置を合わせて印刷する



## 印刷位置を合わせて印刷する

テキストオブジェクトのプロパティ画面の各項目の設定が終わりましたら、**OK** ボタンをクリックします。  
テキストオブジェクト内に設定した文字が挿入されます。  
最後に、テキストオブジェクトの枠のサイズ、位置を調整します。



テキストオブジェクトの枠のサイズ、位置を調整！

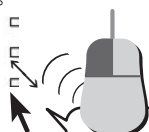


### マウス操作でテキストオブジェクトのサイズ・位置変更

#### サイズ変更

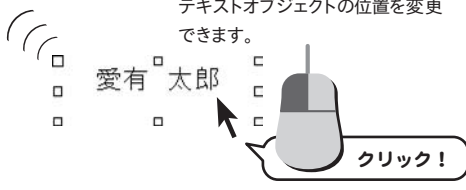
テキストオブジェクトの周辺にある□にマウスを合わせて、左クリックしたままマウスを移動すると、テキストオブジェクトのサイズを変更できます。

□ 愛有 □ 太郎  
□  
□



#### 位置変更

テキストオブジェクトの枠内を左クリックしたままマウスを移動すると、テキストオブジェクトの位置を変更できます。



## 印刷位置を合わせて印刷する

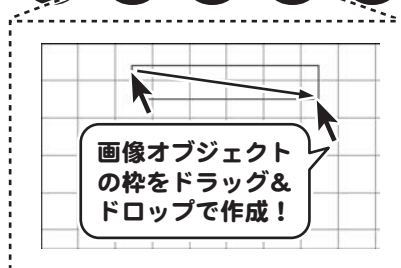
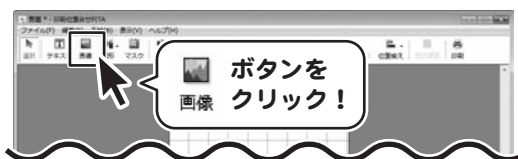
### 4 画像オブジェクトを追加します（画像オブジェクト ③ を配置する）



画像

ボタンをクリックし、ドラッグ&ドロップして、画像オブジェクトの枠を作成します。

画像オブジェクトの枠を作成したら、画像オブジェクトの枠内をダブルクリックします。

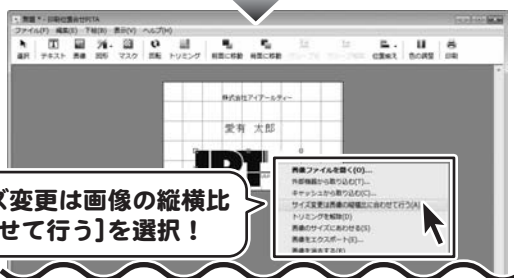


## 印刷位置を合わせて印刷する

開く画面が表示されますので、画像ファイルの保存場所を指定し、画像ファイルを選択して、**開く** ボタンをクリックします。

画像オブジェクトに画像が挿入されましたら、画像オブジェクト枠内で右クリックし、表示されるメニューから**[画像のサイズをあわせる]**を選択し、画像の比率を元の画像と合わせます。

次に、画像オブジェクト枠内で右クリックし、表示されるメニューから**[サイズ変更は画像の縦横比に合わせて行う]**を選択し、画像の縦横比を保ったまま画像のサイズを調整できるように設定します。



## 印刷位置を合わせて印刷する

最後に、画像オブジェクトの枠のサイズ、位置を調整します。



### マウス操作で画像オブジェクトのサイズ・位置変更

#### サイズ変更

画像オブジェクトの周辺にある口（マウス）に合わせて、左クリックしたままマウスを移動すると、画像オブジェクトのサイズを変更できます。



#### 位置変更

画像オブジェクトの枠内を左クリックしたままマウスを移動すると、画像オブジェクトの位置を変更できます。



## 5 図形オブジェクトを追加します（図形オブジェクト ④ を配置する）

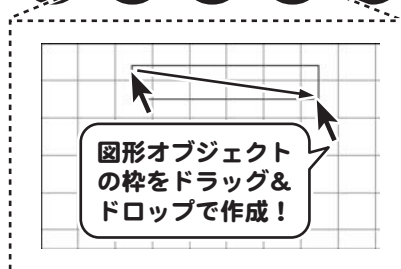
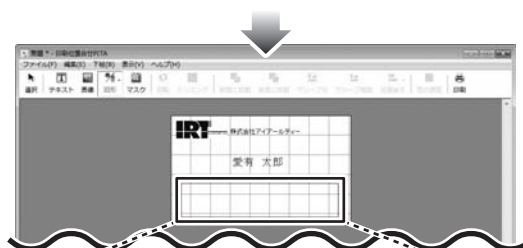


ボタンをクリックし、表示されるメニューから図形の種類を選択します。（ここでは、四角を選択）



## 印刷位置を合わせて印刷する

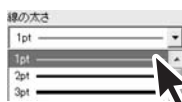
図形の種類を選択したら、ドラッグ&ドロップして、図形オブジェクトの枠を作成します。  
図形オブジェクトの枠を作成したら、図形オブジェクトの枠内をダブルクリックします。  
図形のプロパティ画面が表示されますので、各項目を設定します。



図形オブジェクトの枠内をダブルクリック！



①▼をクリックして、【線の太さ】を設定します  
(ここでは、1ptに設定)



【線の太さ】を設定！



## 印刷位置を合わせて印刷する

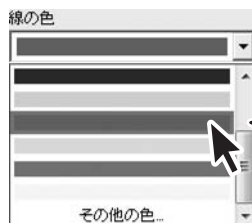


- ②▼をクリックして、[線の種類]を設定します  
(ここでは、実線を選択)



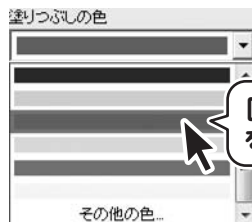
[線の種類]を  
設定！

- ③▼をクリックして、[線の色]を設定します  
(ここでは、赤を選択)



[線の色]を  
設定！

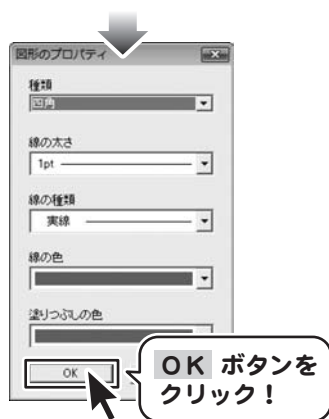
- ④▼をクリックして、[塗りつぶしの色]を設定します  
(ここでは、赤を選択)



[塗りつぶしの色]  
を設定！

## 印刷位置を合わせて印刷する

図形のプロパティ画面の各項目の設定が  
終わりましたら、OK ボタンをクリックします。  
図形オブジェクト内に設定した図形が挿入  
されます。  
最後に、図形オブジェクトの枠のサイズ、位置  
を調整します。



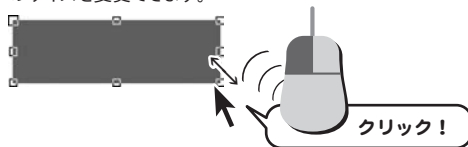
図形オブジェクトの  
枠のサイズ、位置を調整！



### マウス操作で図形オブジェクトのサイズ・位置変更

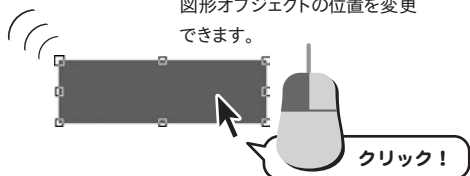
#### サイズ変更

図形オブジェクトの周辺にある口（ハンドル）にマウスを合わせて、  
左クリックしたままマウスを移動すると、図形オブジェクト  
のサイズを変更できます。



#### 位置変更

図形オブジェクトの枠内を  
左クリックしたままマウスを移動すると、  
図形オブジェクトの位置を変更  
できます。

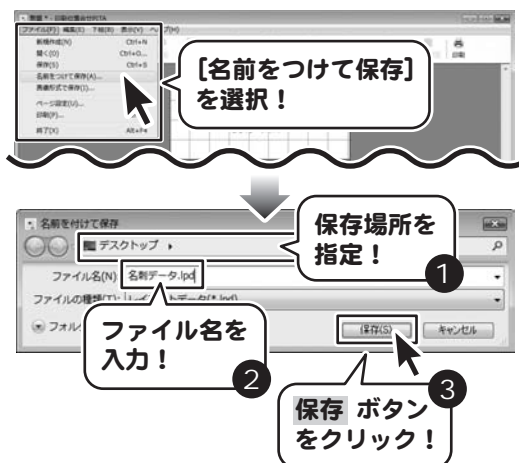


## 印刷位置を合わせて印刷する

### 6 作成したレイアウトデータを保存します

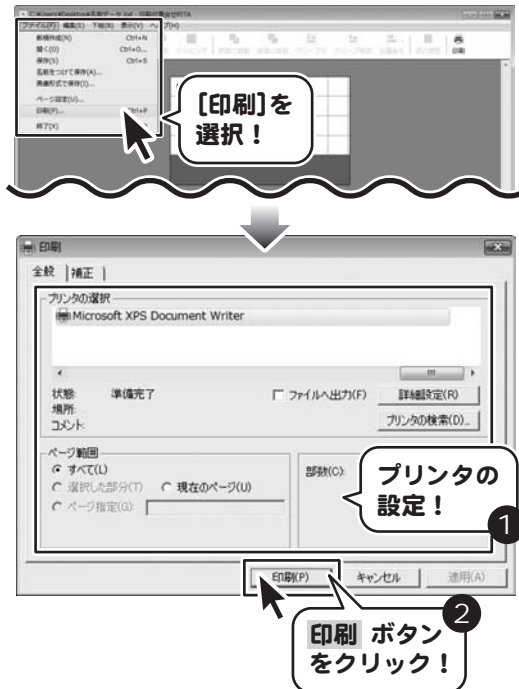
[ファイル]メニューから[名前をつけて保存]を選択します。

名前を付けて保存画面が表示されますので、保存場所を指定し、ファイル名を入力して **保存** ボタンをクリックします。



### 7 作成したレイアウトデータを印刷します

[ファイル]メニューから[印刷]を選択します。印刷画面が表示されますので、プリンタの設定をして、**印刷** ボタンをクリックします。印刷がはじまります。



## その他の機能・操作説明

### 作成 (保存) したレイアウトデータを開く

[ファイル]メニューから[開く]を選択します。  
開く画面が表示されましたら、保存場所を  
指定し、開くファイルを選択して、開く  
ボタンをクリックします。

※保存したレイアウトデータをダブルクリックして  
も、開くことができます。



## その他の機能・操作説明

### マスク機能を使用する

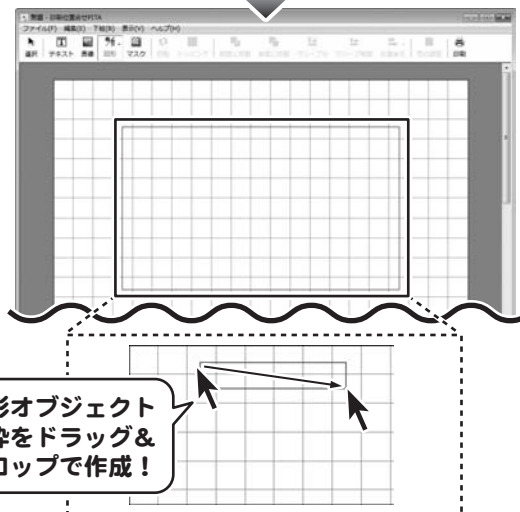
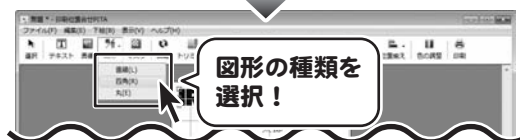
ここでは、下記のような図形とマスクを使用したデザインをつくる方法を説明します。



ボタンをクリックして、  
表示されるメニューから図形の種類を  
選択します。

(ここでは、四角を選択)

図形の種類を選択したら、ドラッグ&ドロップ  
して、図形オブジェクトの枠を作成します。



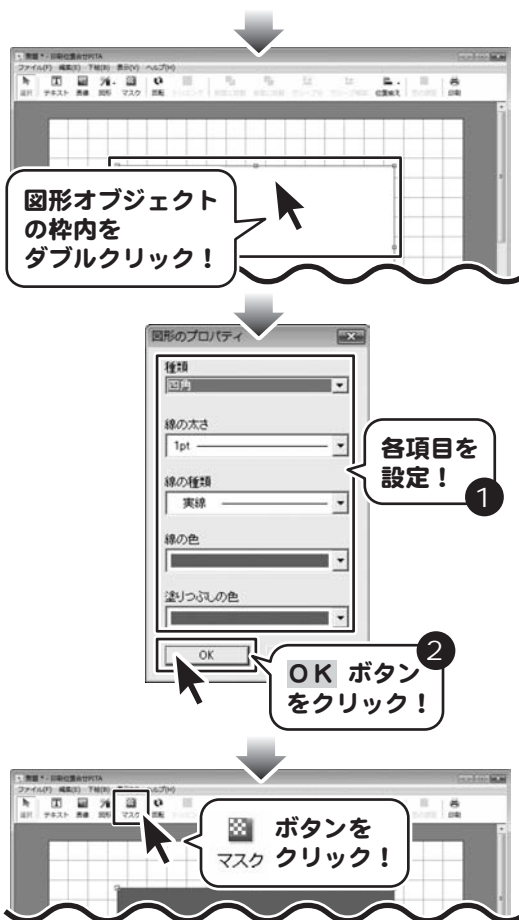
## その他の機能・操作説明

図形オブジェクトの枠を作成したら、図形オブジェクトの枠内をダブルクリックします。図形のプロパティ画面が表示されますので、各項目を設定します。  
(詳しい操作説明は15ページをご覧ください)  
各項目の設定が終わりましたら、OK ボタンをクリックします。

次に



ボタンをクリックして、マスクオブジェクトを作成します。

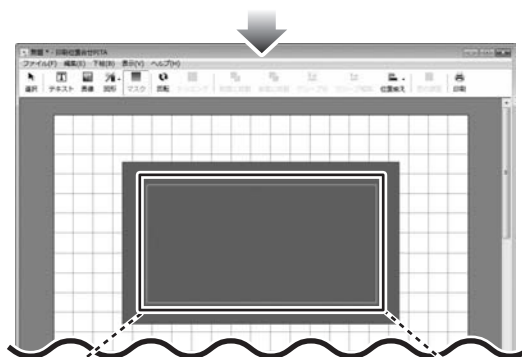


## その他の機能・操作説明

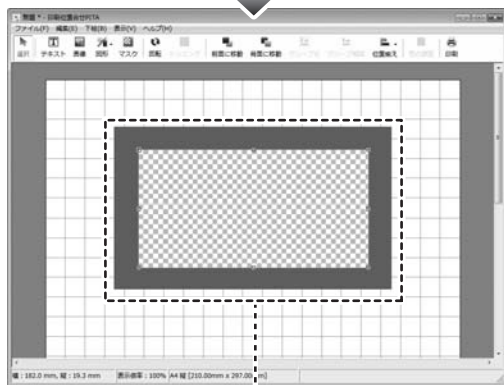


マスク

ボタンをクリックしたら、  
ドラッグ&ドロップして、  
マスクオブジェクトを作成します。



マスクオブジェクト  
の枠をドラッグ&  
ドロップで作成！



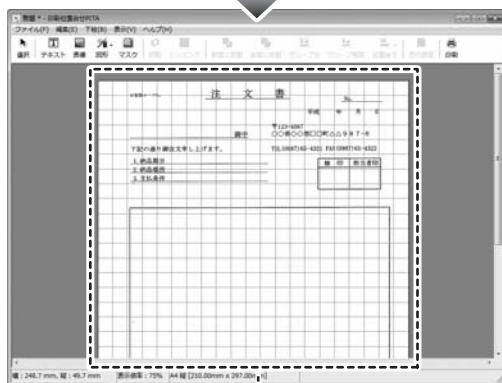
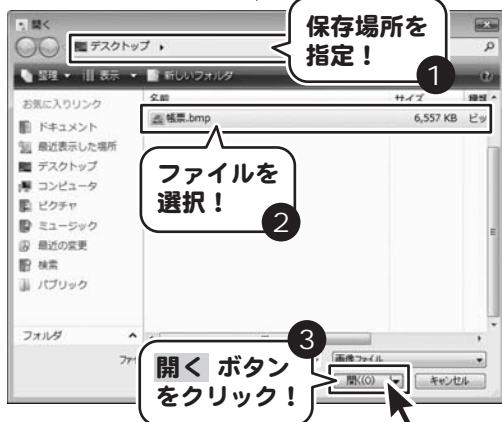
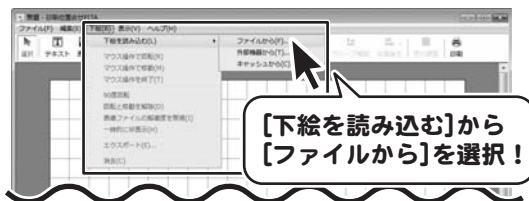
マスクオブジェクトが配置されました

## その他の機能・操作説明

### 下絵をファイルから読み込む

ここでは、あらかじめ下絵として保存してある画像をソフトに読み込む方法を説明します。

[ファイル]メニューから  
[下絵を読み込む]→[ファイルから]を選択します。  
開く画面が表示されましたら、保存場所を  
指定し、開くファイルを選択して、開くボタンを  
クリックします。






## その他の機能・操作説明

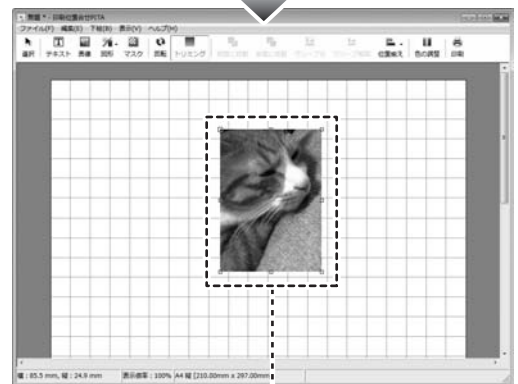
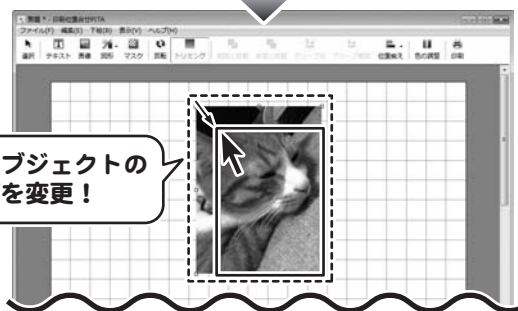
### 画像のトリミングをする

28ページを参考にしながら、画像オブジェクトを追加します。

 ボタンをクリックして、  
トリミング 画像オブジェクトの周辺にある口の上で  
ドラッグ&ドロップします。



画像オブジェクトの  
サイズを変更!



画像がトリミングされました

# その他の機能・操作説明

## CSVエディタ 画面・操作説明

インポートで使用するCSVファイルを付属の「CSVエディタ」で作成することができます。

### 画面説明



### 1 ツールバー

新規	開く	保存	行追加	列追加	行削除	列削除	設定
----	----	----	-----	-----	-----	-----	----

- 新規.....新しくCSVファイルを作成する画面を開きます。
- 開く.....すでに作成保存されているCSVファイルを開きます。
- 保存.....作成したCSVファイルを保存します。
- 行追加.....空の行を1行追加します。
- 列追加.....空の列を1列追加します。
- 行削除.....現在選択中の行を削除します。
- 列削除.....現在選択中の列を削除します。
- 設定.....ファイルを保存する際の補助画面の設定を行います。

### 2 CSVファイル作成プレビュー画面

ここにCSVファイルの内容を入力します。

## その他の機能・操作説明

### CSVファイルの作り方

#### 1 CSVエディタを起動する



→[すべてのプログラム]→[IRT]→[印刷位置合せPITA]→[CSVエディタ]からソフトを起動してください。  
(Windows 2000は[スタート]→[プログラム]→[IRT]→[印刷位置合せPITA]→[CSVエディタ]から起動します。)

#### 2 文字を入力する

入力したいところをクリックすると、青色に変わり  
選択状態になります。

入力欄が青色に変わりましたら、  
文字を入力します。

例として、ここでは1列目に氏名、2列目には  
フリガナ、3列目には都道府県を入力します。

1列目	2列目	3列目	4列目	5列目	6列目
山田 花子	ヤマダ ハナコ	東京都			
鈴木 太郎	スズキ タロウ	大阪府			
佐藤 次郎	サトウ ジロウ	さいたま			

**内容を入力！**

#### 3 入力したファイルを保存する

すべての項目を入力し終わったら、

**保存** ボタンをクリックしてください。

保存ウィザード画面が表示されますので、画面  
の指示に従って保存作業を進めてください。

**保存 ボタンを  
クリック！**

## その他の機能・操作説明

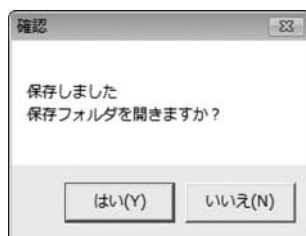
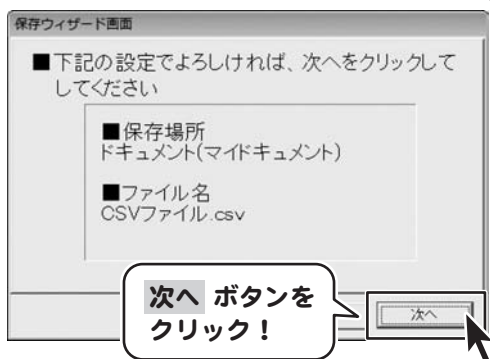
ファイルの保存場所を設定します。  
ドキュメント、またはデスクトップに保存することができます。  
選択したら **次へ** ボタンをクリックします。  
(ここでは、ドキュメントを選択します。)

※保存ウィザード画面表示されない場合は  
[設定]メニューで[補助画面を使用する]に  
チェックを入れてください。

ファイル名を入力します。  
ファイル名を入力したら **次へ** ボタンをクリック  
します。

ファイルの保存場所、ファイル名の確認画面が  
表示されます。  
間違いがない場合は **次へ** ボタンをクリックして  
ください。

保存後、左のような画面が表示されます。  
保存場所をエクスプローラで開く場合は  
**はい** ボタンをクリックしてください。



# Q&A

## インストール・起動について

### Q：インストールができない

A: 以下の項目をご確認下さい。

- ウイルス対策などのソフトが起動していないか。
- HDD(ハードディスク)の空き容量は十分にあるか。
- 管理者権限でログインしているか。
- Windowsを最新の状態にアップデートしてあるか。

### Q：「管理者権限の有無を確認して下さい」と表示される

A: 本ソフトをご利用の際は、必ず管理者権限を持ったユーザーでご使用下さい。

## 操作について

### Q：数字や文字が入力できない 入力しているのに登録されない

A: 次の内容をご確認ください。

- 入力する欄でカーソルが点滅しているか
- キーボードの設定 (NumLockキーのオン/オフ等)
- 入力した文字が確定された状態であるか (文字を入力したら、ENTERキーを押して確定してください)

### Q：文字の形を斜体にしたり、文字の上に取り消し線をつけることはできるの？

A: テキストオブジェクトプロパティ画面内にて設定することができます。

スタイル	: 標準・斜体・太字・太字 斜体
文字飾り	: 取り消し線・下線

### Q：読み込んだ画像を編集することはできるの？

A: 本ソフトには画像を編集する機能はついておりませんが、トリミング(画像の切り抜き)と色の調整を行う事は可能です。

### Q：複数のCSVファイルを差込みたいがどうやるの？

A: 複数のテキストオブジェクトを作成し、それぞれに差込みの設定を行ってください。詳細は15ページをご覧ください。

### Q：オブジェクトの回転を固定させておきたいのに、マウスでオブジェクトに触れると移動できずにまた回転してしまいます

A: オブジェクトを回転させてお好みの角度に傾きましたら、一度画面左上の「選択」ボタンをクリックしてください。

選択ボタンクリック後であれば固定された状態になりますので、マウスで触れても回転が行われず、オブジェクトの移動などをスムーズに行うことができます。

再び回転させる場合には、回転させたいオブジェクトを直接マウスで選択した後、「回転」ボタンをクリックしてください。

## Q&A

### Q：回転の軸となる基準はどこになるの？複数のオブジェクトで回転する場合は？

A：オブジェクトの中心が軸となって回転します。複数のオブジェクトをまとめて回転させるには、複数のオブジェクト全体の外周から中心を割り出して回転します。

### Q：下絵と一緒に印刷することはできる？

A：下絵として読みこまれた画像は印刷されません。

一緒に印刷されたい場合は下絵としてではなく、画像オブジェクトを使って印刷用紙サイズに併せて下絵の画像を取り込んでお使いください。

※印刷精度が下がる可能性がありますので、ご注意ください。

## データについて

### Q：作成したレイアウトを保存することはできるの？

A：保存可能です。詳細は34ページ、35ページをご覧ください。

## 印刷について

### Q：印刷ができません

A：プリンタの説明書を元に、プリンタとの接続や必要なプログラム、インクやトナー、印刷時にエラーが出ていないかなどをご確認下さい。

プリンタその物の動作や必要なプリンタ用プログラムにつきましては、プリンタメーカー様などにお問い合わせ下さい。

### Q：ソフトに対応している用紙サイズは？

**大きな封筒(角形1号など)や、名刺サイズなどの小さい用紙に印刷する事はできるの？**

A：基本的に、本ソフトで印刷することが可能な用紙サイズはA4～A6サイズ・ハガキ・のサイズになり、接続されているプリンタがこの用紙サイズに対応していることが条件になります。

## その他

### Q：本ソフトを他のパソコンと同時に使う事は出来ますか？

A：ネットワーク経由や、他のパソコンのデータとの同期はできません。

本ソフトはインストールを行ったパソコン上でご使用下さい。

### Q：画面の端が切れて表示される

A：画面解像度を推奨サイズ以上に変更して下さい。

Windows XP又は2000の場合 ※()内はWindows 2000での名称です。

1. デスクトップ画面の何も無い所を右クリック
2. 「プロパティ」をクリックし、設定(画面)タブをクリックします。
3. 画面の解像度(画面の領域)のバーを動かし、1024×768以上に設定します。
4. 「OK」をクリックすれば設定完了です。

Windows Vistaの場合

1. デスクトップ画面の何も無い所を右クリック
2. 「個人設定」をクリックし、画面の設定をクリックします。
3. 解像度を1024×768以上に設定し「OK」をクリックで設定完了です。

※機種によっては推奨解像度が表示できないものもあります。

### Q：ボタンをクリックしても反応しない、また画面が正常に表示されていない

A：お使いのパソコンのDPI設定が標準以外(96以外)に変更されている可能性があります。

以下の手順にてDPI設定を変更してください。

Windows XP又はWindows2000の場合※()内はWindows2000での名称です。

1. デスクトップ画面の何も無い所を右クリック
2. 「プロパティ」を左クリックし、設定(画面)タブをクリックします
3. 詳細設定(詳細)をクリックし、「全般」タブの「DPI設定」(フォントサイズ)を「96DPI」(小さいフォント)に設定します。
4. 「OK」をクリックし、コンピュータを再起動すれば設定完了です。

Windows Vistaの場合

1. デスクトップ画面の何も無い所を右クリック
2. 「個人設定」を左クリックし、「フォントサイズ(DPI)の調整」をクリックします。
3. 「あなたの許可が必要です」と許可を求められますので「続行」をクリックします。
4. 規定のスケール(96DPI)にチェックを付け、「OK」をクリックします。
5. コンピュータが自動的に再起動されますので、再起動したら設定完了です。

WindowsOSやパソコン本体・プリンタなどの周辺機器に関する詳細は、各メーカー様へお問い合わせ下さい。

弊社では一切の責任を負いかねますことを、予めご了承願います。

# ユーザーサポート

本ソフトに関する、ご質問・ご不明な点などございましたら、パソコンの状況など具体例を参考に出来るだけ詳しく書いていただき、メール・電話・FAX等でユーザーサポートまでご連絡ください。

## ○ソフトのタイトル・バージョン

例:「印刷位置合せPITA」

## ○ソフトのシリアルナンバー

例: IRTXXX-XXXXX-XXXXXX

## ○ソフトをお使いになられているパソコンの環境

・OS及びバージョン

例: Windows Vista

WindowsUpdateでの最終更新日〇〇年〇月〇日

・ブラウザのバージョン

例: Internet Explorer 6

・パソコンの仕様

例: SONY Vaio XXXX-XXX-XX

Pentium III 1GHz HDD 60GB Memory 512MByte

・プリンタなど接続機器の詳細

例: プリンタ EPSONのXXXX(型番)を直接ケーブルで接続している  
インクジェットプリンタ、ドライバソフトは更新済み

## ○お問合せ内容

例: ~の操作を行ったら、~というメッセージがでてソフトが動かなくなった

□□□部分の操作について教えてほしい…etc

## ○お名前

## ○ご連絡先など

## ■ご注意

※お客様より頂いたお問合せに返信できない現象が多発しております。

FAX及びe-mailでのお問合せの際には、ご連絡先を正確に明記の上、サポートまでお送りいただきますよう宜しくお願い申し上げます。また、お問合せ頂く前に、プリンタ等の設定などを今一度ご確認ください。



ご質問・ご不明な点がございましたら、サポート専用番号へご連絡ください。コンピュータのスペックや周辺機器などの状況を詳しくお調べのうえお伝えください。

TEL 048-640-2582 FAX 048-640-2582  
E-mail [info@irtnet.jp](mailto:info@irtnet.jp) URL <http://irtnet.jp/>

受付時間 平日AM10:00~PM5:30  
土、日、祭日を除く

株式会社アイアールティ  
〒532-0012  
大阪府大阪市淀川区木川東4丁目2番2号 北商新大阪ビル4F